

2025年 6月末現在
組合員 4,341人
出資金 1億6,861万円
5～6月の動き
組合員 新規加入8人
脱退7人



西濃医療生活協同組合



第147号

2025年7月10日発行
(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会

第24回通常総代会開催

3本柱の活動で医療生協の価値をいっそう高めよう

健康で平和に暮らせるまちづくり

最後まで自分らしさを実現できる医療・介護

「つながり」広げ、仲間ふやし、担い手ふやし

6月29日大垣市情報工房スインクホールにて通常総代会を開催し、総代80人と役員51人あわせ

て131人が出席しました。

総代会開会にあたり、関豊明理事から今総代会が定款に基づき、実出席75人、書面議決16人で出席定数を満たしており、成立していることが宣言されました。議長に大垣中央支部の松岡恵子総代と赤坂支部の伊藤紀雄総代を選出して議事が始まりました。

木村隆之理事長の開会挨拶の後、全岐阜県生活協同組合連合会の根崎周一会長理事から来賓挨拶をいただきました。

理事会を代表して中村英洋専務理事から4つの議案が一括提案され、高田一朗監事から監査報告、事業活動について6人の事業所管理者から補足報告がありました。

全体討議では、総代4人、理事1人、事業所5人から発言がありました。全体討議のまとめを行った後、全議案が賛成多数により可決されました。



せ い り ゆ う

リハビリ科からしずさとデイサービスに異動して1年が経ちました。デイサービスの仕事は実際に関わってみると、想像以上に大変で奥深い仕事だと感じています▼しずさとデイサービスでは、比較のお元気な要支援の方から、要介護5で寝たきりの方まで、どんな方でも受け入れています。朝は職員が利用者さんを迎えに行き、到着後は体調をチェック。その後は排泄の介助をしたり、入浴してもらったり、お昼ごはんやおやつを提供もしています。食後は口腔ケアもします。午後は体操やレクリエーションを楽しんでもらえるよう工夫しています。そして夕方にはご自宅までお送りします。こうした一連のサービスを、限られた時間と職員数で、多い日には30名近い利用者さんに提供しています▼最近、介護業界では「生産性向上」という言葉をよく耳にします。日本は人口が減って働く人が少なくなっていく一方

で、高齢者の割合はどんどん増えています。私たち自身が将来介護が必要になったとき、本当に介護してくれる人がいるのか、不安になることもあります。最近では外国人材の受け入れも増えてきています▼このような時代を見据えて、限られた人材でもより多くの高齢者をケアできるよう、介護業界ではいろいろな取り組みが進められています。直接的な介護と間接業務を分けて見直したり、ロボットやセンサー、ICTを活用したりして、質の高い介護を少ない人数でも実現できるような改革が進んでいます▼しずさとデイサービスでも、人手不足のなかで工夫しながら、少しずつ「生産性向上」に取り組んできています。5年後、10年後も西濃医療生協の介護事業が、人手不足を理由に一部の事業を縮小せざるを得なくなるこののないよう、今後も業務の見直しや改善を進めていけたらと考えています。

しずさとデイサービス管理者 堀井聡至

中村専務理事から4つの議案を提案 7つの事業を各管理者が補足報告

第1号議案 活動報告

①健康で平和に暮らせるまちづくり

班活動が活発に行われ、開催数、参加者数で過去最高に

スクエアステップ、健康ヨ



がなど健康づくり班会に、麻雀や囲碁、己書など趣味を活かした新たな班会も加わり、総数40の班が年間415回の班会を開催し、のべ4300人が参加しました。

能登被災地支援の活動

診療所での募金活動に加え、現地支援活動に、岐阜民医連の呼びかけに応じて、リハビリテーション科の職員3人が参加、また、不破支部の呼びかけで10人の組合員が活動に参加しました。

地域組合員と職員組合員の協同

診療所周辺をとともに訪問。診療所や介護事業のこと、困りごとなどで対話することができ、職員の訪問は歓迎されました。

②最後まで自分らしさを実現できる医療・介護

経営改善への取り組み、非営利協同の経営実現のために

介護サービスの利用者が増え収益が向上しました。また、各事業所の予算管理改善のための仕組みづくりなど、医療生協・民医連の加盟の他法人・

事業所から学びました。

中長期介護事業計画の策定に向けて特別委員会を設置

2024年度の重点課題であった介護事業のあり方検討について、理事と事業所管理者17名で特別委員会を設置し、今後の介護事業の展開を協議し、計画を策定しました。

③組織の拡大強化と「ともに学び・育ちあう」人づくり

仲間ふやし・出資金ふやし

新規加入91人に対し脱退89人で純増2人。出資金は増資を上回る減資により69万円の減少。組合員数・出資金はここ4年間、横ばい状態が続いています。

医療生協活動への参加

専門委員会（利用・健康・機関紙編集など7つの委員会）の継続、再開に力を注ぎまし

た。診療所利用委員会が再開され、患者さんからの投書や意見などから設備や運営の改善が図られつつあります。しずこでいサービスボランティア、機関紙げんきの配布、運営委員会への参加など医療生協活動の担い手ふやしに努めました。

ともに学び・育ちあう人づくり

地域組合員と職員組合員が

「ともに学び・育ちあう」機会として班会や講座に職員が

講師として参加、健康まつりをともに作り上げる、組合員活動交流集会では事業活動の報告をし、組合員といっしょに意見交換するなどの活動を進めました。

第2号議案 活動方針

①健康で平和に暮らせるまちづくり

地域に開かれた班活動を中心に「つながり」を広げる

地域・自治体や諸団体などとの新たな関わりから活動を広げ、医療生協が「見える」活動に取り組みます。

戦後・被爆80年の今年、岐路に立つ平和の課題に向き合い、支部や地域での取り組みを進める

世界で紛争が絶えず、核兵器使用の可能性がかつてなく高まるなど、岐路に立つ平和の課題に取り組みます。

②最後まで自分らしさを実現できる医療・介護

非営利協同の組織として経営改善を進め、地域の健康づくりから看取りまで、私たちの医療・介護事業のめざすものをもう一度しっかりと見つ

め直し事業活動を進めます。

③組織の拡大強化と「ともに学び・育ちあう」人づくり

日本医療福祉生協連が提起する「組合員参加のあり方提言」を学び、仲間ふやし・出資金ふやし・担い手ふやし、地域組合員と職員組合員の協同、役職者の学習や研修を進め後継者の育成に取り組みます。

第3号議案 決算・予算

医療事業収益は3億5千万円、介護事業収益は3億7千万円の合計7億2千万円。事業費用は7億3千万円で7百万円の当期赤字決算になりましたが、昨年度から2200万円の改善になりました。赤字決算の主な要因が事業収益の予算未達であったことから、予算方針は、利用者増に努めるとともに予算管理を強化し黒字化をめざします。

第4号議案 役員報酬

役員報酬規定で定める基準に基づき、常勤の専務理事および常務理事2人の全3人の報酬総額を年間3200万円の範囲内とする提案が行われました。

全体討議で10人が発言



玄瞳総代

大垣市主催の
お勝山ふれあい

センターで行われているスクエアステップで講師をつとめています。定員からもれた方ももっとやりたいという方には医療生協の班会をお知らせしています。そこから医療生協に加入される方もいます。班会をもっと広くお知らせしたいのではないかと思います。



小林敬子総代

岐阜県内の通
し行進者として
6日間、平和行進に参加しま

全体討議でフロアからの発言の様子

した。行進で訪れたいくつかの市・町では市長さんや職員の皆さんが歓迎してくださいました。日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことも影響しているかなと思います。来年も頑張ります。ぜひ皆さんも参加しましょう。



伊藤里美総代

不破支部では、
班が5つあり、

最近6つ目の班ができ、毎月班会が開かれています。のべ100人くらいの組合員や組合員以外の方も参加しています。地域の文化祭などにも不破支部として出店し、ここでも新たなつながりが生まれ、班会参加が広がるなど好循環の活動ができています。



江崎俊子総代

しずさとデイ
サービスのボラ

ンティアに加わって2年になります。そこで感じることは、介護の仕事が大変だと言われている中で、介護スタッフの利用者さんへの対応が素晴らしいことです。これは外からは見えないことだと思ひ、皆さんに知ってもらいたいと思ひ発言しました。



川村一郎理事

コロナの影響
を受け、健康ま

つりの形を変えてこの2年間やってきましたが、今年はどうしましょうか。開催は10月5日に決めました。多くの方に参加いただけるまつりにしたいと思っていますのでよろしく願ひします。



伊賀並理学療法士

要支援の方々
への介護予防に
あたる総合事業

が強化されました。短期集中型のサービスで自立を促すものです。健康班会などと連携し医療生協の強みを活かしていけるといいと考えています。

三輪ケアマネジャー



介護支援セン

ター不破事業所
は、今のところ

私1人体制ですが、3人体制をめざしています。地元の社協、地域包括との関係、そして組合員の皆さんも大事にして活動しています。



染矢介護福祉士

デイサービス
ひのきは、小規全体討議の
まとめ発言

中村専務理事

医療・介護業界も住民の暮らしも、現在非常に困難な状況にあります。診療報酬・介護報酬の削減、患者・利用者の負担増に加え、物価高騰による生活の困難さも増大しています。さらに組織的には組合員が増えないという課題にも直面しています。

そういうなかで、つながりが広がり、班会参加が増え、

模の認知症対応デイサービスです。24年度は利用者が増え、黒字にすることができました。小規模デイの良さを活かして利用者さんとして向き合う介護を行なっています。



水野診療所事務長

8月より院外
処方せん発行に

切り替わります。患者さんへのお知らせも行っておりますが、ご不明なことはお気軽にお尋ねください。また、国保の方でマイナ保険証をお持ちの方には、従来の保険証に代わる資格確認書が発行されなくなるなど不安の声が聞かれ



柄澤診療所所長

しずさと診療
所では、慢性疾

患の管理、ガンの早期発見、合併症の予防など定期的な検査を受けることをお勧めしています。ぜひご理解ください。定期的な受診がない方は健診を受けましょう。特定健診や組合員健診を受けて早期発見に努めることが重要です。

今年もすでに猛暑が始まっていますので熱中症に十分注意しましょう。

生協への加入につながっていく活動報告であったり、ボランティアに参加しての発言は職員を励ますものであります。職員の発言も含めて、組合員・職員と一緒に力をあわせて医療生協の価値を高めていこうという前向きな発言だったと思います。戦後・被爆80年の年に平和の取り組みを強化することあわせて、組合員・職員が協同して挑戦する、本総代会をきっかけにしていきたいと思っています。

11支部が総会を開催

あなたも支部の運営委員会に参加し、健康づくり活動をご一緒にすすめませんか

大垣中央支部

5月15日、スイトピアセンター学習館で支部総会と大垣市出前講座「人生会議してみませんか」を大垣市市民病院・中島医師を講師に開催しました。人生会議とは(A C P) = Advance (あらかじめ) Care (医療・看護・介護) Planning (計画をたてる) のCareをLife (人生・生活・命) に置き換えた日本語訳。信頼できる人、医療・ケアチームと話し合い、『わたしの想い』を共有することの大切さに気付かせてくれました。私たちにとって初めての有意義な「人生会議」でした。他の支部でもぜひ取り組まれることをお勧めします。

赤坂支部

5月15日、青墓地区センターで支部総会と健康サロン「マジック」を開催しました。



演者の江馬斉一郎さんは以前しずさとデイサービスでも披露していたことがあります。今回も快く引き受けてくださって、参加者といっしょになったマジックで、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

大垣東支部

5月18日、河村支部長宅で、スクエアステップ班会を行った後、支部総会を開催しました。スクエアステップ班会を毎月定期的に行うことで参加者も増えてきました。今年度は新たな班をつくって、さらにつながりを広げていこうと支部総会で話し合いました。

大垣南支部

5月24日、しずさと診療所で、支部総会を開催しました。スクエアステップ班会を毎月定期的に開催することになって、参加組合員の方が知り合いを誘ってくださるようになり参加者が増えました。また、組合員にもなっただき、人とのつながりの大切さを実感しています。

大垣西支部

6月1日、組合員活動会議室で支部総会と健康講座



「きこえと補聴器の話」を認定補聴器技能者・水谷慎さんを講師に招き開催しました。

「最近聞こえにくくなった」「補聴器が合わない」などさまざまな声に応えての開催でした。

班会ではスクエアステップ、健康ヨガ、健康講座のほか、マージャン班会、囲碁班会も始めました。西支部では、組合員さんの聞いてみたいこと、やってみてみたいことに応えていきたいと思っています。お気軽に「お声」を寄せてください。

宇留生支部

5月18日、宇留生地区センターで、支部総会と講座「看取るとは」を大垣ぬくもり代表の小川みさ子さんを講師に招き開催しました。



誰しも愛する人の看取りを避けることはできません。家族は愛する人の穏やかな最期を望むのはもちろん、多くの不安や疑問を抱えるのも当然です。そのような家族に寄り添い支えてくれるのが「看取り士」であると分かりました。「看取り士」の仕事を通して、愛する人にどのように寄り添うべきなのかを考えさせられる講座となりました。

大垣北支部

5月21日、中川地区センターで、支部総会と健康講座「転倒予防」をしずさと診療所の吉井作業療法士さんを講師に開催しました。「平均寿命と健康寿命には10年の差がある。その10年是不健康期間とされ、転倒が大きな要因と言われている」と切り出され、転倒を予防するためのポイントについて詳しくお話いただきました。転倒しやすい場所を確認する。電気コードやカーペットの縁などはつまずきのもとになる。転倒を引き起こす要因であるバランス能力、歩行能力、筋力などの低下を予防するための転倒予防体操を行いました。

講座に参加して、転倒する要因を知り、その対策を行うことの大切さが分かりました。

不破支部

5月24日、ワイワイプラザ垂井で支部総会と防災講座「震災を生き抜く知恵を学ぶ」を防災士で大震災の語り部・小笠原さんご夫妻を講師に招き開催。



実際に東北大震災を経験されて、備えがいかにか大事であるか身にしみているお二人から、貴重な話を伺いました。南海トラフ地震や東南海地震など近い将来起こると言われても、どこか「うちは大丈夫」と思っている方が多いのも確かです。まずは家具の固定と、水や食糧の備蓄の見直しをしようと思いました。車のガソリンも早め早めの給油を心がけ、いつ何が起こってもすぐ動けるようにしておくことが大事だと教えてもらいました。

西濃医療生協は、11の地域に支部をつくり、健康づくりやたすけあいの活動を行っています。それぞれの支部が総会を開催しました。

神戸支部

5月31日、しずさと診療所で支部総会と健康講座「しずさとのリハビリ」を堀向理学療法士さんを講師に開催。



姿勢の悪さは胸郭と股関節の固さに原因があり、運動メニューを教えてもらい実践です。その後講師の堀向さんがご家族といっしょに三線で伴奏「島人の宝」などみんなで合唱しました。皆さんの歌声に今年も力を合わせて前進、と元気ができました。

揖斐支部

5月8日、池田町中央公民館で支部総会を開催。その後スクエアステップ班会を行いました。毎月2回、池田町中央公民館で行っていますので、どなたでも気軽にご参加ください。

**西濃南部支部**

5月24日、ワイワイプラザ垂井で支部総会を開催しました。2024年度の活動報告や会計報告、2025年度の活動方針を共通認識できました。班会は8班。健康委員と健康まつり実行委員を新たに決めて活動していきます。


赤坂支部 健康サロン
音楽療法「音楽で脳を活性化しよう」

講 師 高木裕子さん 渡辺登喜子さん
 日にち 7月17日(木) 10:00 ~
 場 所 青墓地区センター 研修室
 問合先 宇津 0584-91-2379 玉井 0584-91-7422
 高瀬 0584-71-4409

西濃南部支部 伊吹山観察会のご案内

日 に ち 8月7日(木) 雨天中止
 集合場所 関ヶ原駅 9:00 9:15 バスにて出発
 持 ち 物 昼食・飲物・タオル・着替えなど
 バ ス 代 2,900円(往復)
 駐 車 場 関ヶ原ふれあいセンター
 行 程 伊吹山駐車場 → (午前中) 撮影など自由行動 12:00 頂上の日本武尊像周辺で昼食 15:30 バス乗車 16:10 関ヶ原駅着の予定
 申込み先 田中 090-7607-7468
 ※参加希望の方は7月31日までに電話で申込みを

第9回 健康チャレンジ155人が参加

2月・3月実施の健康チャレンジに取り組んでいた皆さん、いかがでしたか？

チャレンジカード提出者は155名でした。ありがとうございました。

来年も2月・3月に健康チャレンジを開催しますのでよろしくお願いします。

一緒に働く仲間をご紹介いただけませんか？

- ◎医師 在宅医療に関心のある方
 - ◎訪問看護師 常勤または非常勤
 - ◎介護福祉士・介護士
 - ・デイサービス：非常勤
 - ◎非常勤 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
- 詳細は本部 中村まで 電話 0584-92-3268



2025 国民平和 大行進

戦後・被爆80年「核兵器禁止条約」に
日本政府も署名・批准を

5月6日に東京夢の島・第五福竜丸展示館前を出発した「国民平和 大行進・東京→広島ルート」が、6月15日夕刻に大垣市に入り、翌朝、城西公園から関ヶ原町まで行進しました。

16日、城西公園での出発集会では大垣市長のメッセージが代読され、ワイワイプラザ垂井での歓迎集会、県内最終地である関ヶ原町中央公民館で引き継ぎ集会が行われ、核兵器廃絶に向けた活動を交流し、滋賀県にバトンを渡しました。

西濃医療生協では、今年も平



和行進に大垣市内から関ヶ原町までの区間に職員が5人参加しました。また、行進者に平和への願いを託そうと、医療生協の事業所では、患者・利用者さんにも協力を呼びかけ、職員も加わって折り鶴を作り、千羽を束ねました。行進途中の休憩所で、利用者さんもしっかり千羽鶴を手渡しました。

日本原水爆被害者団体協議会

「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める署名」にご協力をお願いします

昨年、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協が進めている署名用紙を本紙に折り込みましたので、ぜひご協力ください。診療所・介護事業所に届けていただくか、郵送でお願いいたします。

原爆と人間展



～戦後80年！ 平和について考えてみませんか～

と き 7月26日(土)・27日(日)
両日とも9時～15時

ところ スイトピアセンター3階展示室

- ◆広島の高校生が描いた「原爆の絵」展示
- ◆『広島証言』DVD放映
- ◆被爆稲の展示

子どもとおとなの平和広場

と き 7月27日(日) 10時～14時30分

- ★寺ちゃんのピースソング
- ★被爆体験者の話を聞いてみよう
～岐朋会の方のお話&紙芝居～
- ★被爆2世として&平和行進報告
- ★体験・交流コーナー
 - ・体験者と交流
 - ・絵本、折り鶴コーナー
 - ・スタンプラリーにチャレンジ

主催：日本被団協 岐阜県原爆被害者の会
西濃ピースフェスティバル実行委員会

問合先 0584-73-8222 大垣おやこ劇場

※月・水・金10～17時

090-2689-3438 西濃教育会館 山岸

被爆・戦後80年企画

全岐阜県生協連設立50周年記念事業

被爆ピアノコンサート

～調べとともにひろがれ 平和の願い～

と き 8月22日(金) 18時～20時 (開場17:30)

ところ ぎふしんフォーラム 大ホール

岐阜市美江寺町2-6 (岐阜市民会館)

ピアノ演奏：佐藤奈菜さん 歌：七瀬 紫さん

参加費 無料

*お申込みは7月25日まで

*定員900人を超える場合は抽選になります

※当選発表(7月末)は入場券はがきの発送

をもってかえさせていただきます

お申込みはQRコードから⇒



被爆・戦後80年記念講演会

核兵器のない世界を築くために

～「核抑止」では平和は守れない～

と き 10月11日(土) 14時～15時30分

ところ ぎふメディアコスモス 岐阜市司町40-5

講師 川崎 哲 さん(ピースボート共同代表)

参加費 無料

*申込み締切り10月8日

*お申込み多数の場合はお断りする場合があります

お申込みはQRコードから⇒



健康委員会 防災講座

4月26日、診療所で開催された防災講座で、講師をつとめたしずさと診療所の作業療法士・寺倉恭子です。講座でお話しした要点をまとめてお伝えします。

「いざという時に何をしたらいいの？」防災直後 困らないために」

私は昨年春、5日間にわたり能登半島で支援ボランティア活動を行い、仮設トイレの不便さを実感しました。

和式の便器が中心で、水洗用の水がなく、毎回寒い中バケツで水を運び用意する必要がある等の現実を知り、それまで「災害が起きたら避難所へ行けば安心して生活



が出来る」と思っていましたが大規模災害ではその考えが通用しないことを痛感したのです。

災害発生直後、上下水道が使えないトイレを利用した結果、汚物が重積するケースがよくあります。

汚れたトイレを避けるために水分摂取や食事を控えてしまうと、脱水や低栄養を招き、場合によっては命に関わる事態となります。トイレ汚染を予防するためにも、皆さまには、防災直後は、水洗トイレを利用せず凝固剤等を利用し汚物を固めて袋に入れる携帯トイレの利用をお勧めします。

最近では、マスコミでもトイレ問題が取り上げられ、ホームセンターなどで凝固剤が販売されています。人は1日5〜7回排尿すると言われてるので、1人分として、7回×3〜7日分の凝固剤、排泄物を受け止めるごみ袋、脱臭機能付きのポリ袋のセットを備蓄することをお勧めします。

特に、排泄物は数日間で累積するため、薄いポリ袋では異臭が漏れてしまいます。できるだけ脱臭機能付きの袋を利用することが重要です。

また、携帯トイレや簡易トイレを持っていても、実際に使用したことがない方も多いでしょう。ぜひ一度試してみてください。現状

では凝固剤の利用が一般的ですが、コストがかかるため、他に良いアイデアがありましたらぜひ教えてください。防災は意外とお金がかかりがちですが、自分に合った方法で命を守る工夫ができると思います。

今回の講座を通じて、皆様が防災に興味を持ち、備蓄を進めるきっかけになれば幸いです。

参加者の感想

私は防災講座をこれまで何回となく受講してきたので、今回の参加に迷いがありました。でも、参加して本当によかったです!!

講座の前に、エコノミー症候群の予防体操を教えてくださいました。海中イメーシ体操は「海へ行つた気分」で波を乗り越え平泳ぎ、クロール、ボート漕ぎ、ポイントハブ肩甲骨を大きく回す。「山へ行つた気分」ハイキング、山登り、頂上で深呼吸、ポイントは足の動きで血行促進。好きな時、好きな順番で好きな音楽を聞きながら気楽にやれそうです。

私は今回の講座から防災グッズ販売店などへグループウォッチングをして確認や購入できる企画を要望したくなりました。

寺倉さん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。

福寄弥恵子

ウォーキング

日にち 7月21日(月) 雨天 7月28日(月)
行き先 明神湖一周と岩手地区の散策(垂井町) 竹中半兵衛陣屋跡から竹中家の墓所(禅幢寺)に寄り明神湖へ。そして明神湖をゆっくり一周。そのあと岩手の集落を散策
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30
持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴
会費 200円+交通費200円

問合せ 杉野茂樹 080-9832-3399
梅村民雄 090-4232-9057

山楽会

日にち 7月14日(月) 雨天中止
行き先 鎌刃城址(米原市番場・標高384m) 江北と江南の境目に位置する中世山城跡で、石垣、曲輪、堀切、竪堀等遺構が多く国史跡にも指定
健脚度 中級 歩行時間 3時間程度
集合場所・時間 しずさと診療所 8:00
持ち物 弁当、お茶、帽子、雨具、杖、登山靴
会費 200円+交通費400円

問合せ 梅村民雄 090-4232-9057
杉野茂樹 080-9832-3399

※日程は変更する場合もあります。詳細は、問合先までお尋ねください。

※8月の山楽会・ウォーキングの会は、猛暑が予想されますので休会とします。9月より再開します。よろしくお願いします。

無料

おんこも 生活相談

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお受けします。

日にち：8月7日(木) 9月11日(木)

場所：しずさと診療所内

○相談時間：午後2時～3時 ※1件あたり30分

○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

日にち 7月10日(木) 15日(火) 23日(水) 29日(火)

8月14日(木) 19日(火) 27日(水)

9月3日(水) 11日(木)

※それぞれ12時半プレー開始

※35度以上の猛暑日は中止します

場所 三城公園 ソフトボール場

問合・申込先 河村秀一 090-5450-3227

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9～12時	第1診	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※3
	第2診	塩澤	阿川	粕谷	※1	粕谷	—
	第3診	—	—	—	—	※2	—
14～17時	訪問診療	柄澤 塩澤	柄澤	柄澤 粕谷	柄澤	柄澤	
17～19時	第1診	塩澤		泉		柄澤	

8月1日から院外処方せんに切り替わります

- *診療所ではお薬の代わりに院外処方せんをお渡しします。
- *院外処方せんを持って最寄りの保険薬局でお薬を受け取っていただきます(薬局でもお会計が発生します)。
- *処方せんは発行日から、土日祝日を含む4日以内に薬局に持って行ってください。

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169

リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-1169

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311

〒503-0981 大垣市松町706

紙芝居「命の選択～私の歩いた道」

講師 満蒙開拓平和記念館

ボランティアグループ・ピースLabo

若林まり子さん

満蒙開拓団からの帰国者・北村栄美さん(池田町在住)の実話を紙芝居で伝えてもらいます。

●大垣中央支部

日にち 7月20日(日) 13:30～15:00

場所 しずさと診療所待合室

問合先 松岡 090-5854-6428

●不破支部

日にち 8月6日(水) 10:00～12:00

場所 ワイワイプラザ垂井 2F会議室

*北村栄美さんを囲んで話し合ひましょう

問合先 伊藤 0584-22-5719

診療所・介護事業所の草取りボラに 皆さまのご協力をお願いします

日にち 7月27日(日) 雨天の場合8月3日(日)

8月24日(日) 雨天の場合8月31日(日)

※集合時間は午前7時

集合場所 しずさと診療所

問合先 正岡礼子 0584-27-5957

診療所 お盆休診

8月15日(金)～8月16日(土)

※1 木曜日第2診の診察

第1・第3・第5木曜は西尾医師が担当します。

第2・第4木曜は岡野医師が担当します。

※2 金曜日の第3診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※3 土曜日の診察

第1・第3土曜は柄澤医師が担当します。

第2土曜は松井医師が担当します。

第4・第5土曜は小林医師が担当します。

エコー検査・栄養指導のご案内

検査技師による心・頸動脈エコー(毎週水曜日)

管理栄養士による栄養指導(第2火曜・第4金曜)

※診察時にご相談ください。

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151

〒503-0981 大垣市松町1452

・介護支援センター 0584-93-1171

・デイサービスセンター 0584-93-1172

・訪問看護ステーション 0584-93-1173

・ショートステイ 0584-93-1175

▼しずさと介護支援センター不破事業所

電話 0584-71-7311

〒503-2100 不破郡垂井町地蔵1-105